※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「音楽Ⅱ　改訂版　Tutti」　（教育出版）						
副教材等	ザ・ベーシックス・オブ・ミュージック						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」「音楽を聴くこと」の 4 つの分野を年間通じて学習していきます。
1 年次の内容より、さらに深く掘り下げたものになりますので、自分でしっかり考える時間が増え、解決策を見出す力を求められることも多くなり、音楽に関するひきだしの数が飛躍的に増えます。それだけではなく、音楽とともに歩むことはみなさんの生活や人生を明るく豊かなものにしてくれます。またそのような力を身につけてほしいと願っています。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（２）　個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

（３）　主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能などを身につけている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	合唱	豊かな響きで歌おう 「ほたるこい」	a:曲想を歌詞の内容と関わらせて理解し、イメージを持って音楽表現を工夫し声を合わせるために必要な技能を身につけている。 b:各パートの役割や音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら創意工夫している。 c:この曲の由来に関心を持ち、複数の声部のかかわりやその演奏効果を生かして合唱することに主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・相互鑑賞 ・テスト後の振り返りシート ・自分が工夫した点の記述	・授業観察 ・グループでの討論と、その発表の様子 ・相互鑑賞
	合奏	楽器の特徴を生かしたアンサンブルを楽しもう 「レイダースマーチ」	a:ピアノ・ギター・サックス・ベース・打楽器などの奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 b:音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、さまざまな表現形態の特徴を生かした音楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法とのかかわりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしいアンサンブル活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・発表会 ・指揮の実技	・発表会 ・練習記録用紙	・発表会 ・練習記録用紙 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	アンサンブル	表現を工夫してアンサンブルをしよう 「自由曲アンサンブル」	a:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。また、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景とのかかわりを自分で調べ、そのかかわりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、さまざまな表現形態の特徴を生かした音楽表現を創意工夫している。 c: 曲想と楽器の音色や奏法とのかかわりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしいアンサンブル活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・発表会	・発表会 ・練習記録用紙 ・発表会後の振り返りシート ・録音時の意見交換メモ ・最終練習時のグループでのイメージ共有メモ	・観察 ・練習記録用紙 ・発表会後の振り返りシート ・録音時のグループでの意見交換メモ ・最終練習時のグループでのイメージ共有メモ
	器楽	ハンドベルのアンサンブルを楽しもう 「星に願いを」	a:ハンドベルの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、個性豊かに表している。 b: 音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、さまざまな表現形態の特徴を生かした音楽表現を創意工夫している。 c: 曲想と楽器の音色や奏法とのかかわりに関心を持ち、それらを生かして演奏することに主体的に取り組んでいる。	・発表会	・録音時の、課題ピックアップメモ	・録音時の、課題ピックアップメモ ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	創作	シンガーソングライターになろう 「自作曲の発表」	a:音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージとかかわらせて理解している。 b: 創作表現にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫している。 c:楽曲を作り出すことに関心をもち、イメージを持って創造的に音楽をつくることに主体的に取り組んでいる。	・発表会 ・提出楽譜	・記録表 ・発表会後の振り返りシート	・相互鑑賞 ・授業観察 ・記録表 ・発表会後の振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度